

地域包括支援センターの運営状況及び評価について

地域包括支援センター運営状況

1. 介護予防ケアマネジメント

(1) 新予防給付利用者数

26 年度は、年度当初 7,310 人の利用者数から、年度末の 7,552 人に増加している。(242 人増 (+3.3%))

(2) 介護予防サービス計画作成の委託状況

25 年度の介護予防サービス計画の委託率は、27.7%。15.6%～73.0%まで、委託率に開きがある。

(3) 介護予防サービス計画における同一法人紹介割合

同一法人の事業所利用割合が 70%を越えた地域包括支援センターはなかった。

2. 総合相談支援・権利擁護

(1) 相談件数

25 年度の相談件数は、95,038 件（3,184 件減（▲3.2%））

介護保険に関すること、在宅福祉・生活支援に関する相談が多い。

(2) 介護保険に関すること

全体としての相談件数は減少しているものの、申請手続きに関する相談が増えている（前年度比）。

(3) 権利擁護に関すること

権利擁護に関する相談が減少している。特に困難事例が減少している（前年度比）。

(4) 相談者の内訳

本人、子供のほか、事業者・施設等、ケアマネジャーからの相談も多い。

(5) 対象者の年齢

70 歳代の相談から多くなり、80 歳代の相談件数が最多。

(6) 事業別相談件数とサービス適用数

サービス適用に繋がらない相談も多いが、相談件数は多く、各事業の制度広報も兼ねた相談窓口としての役割を果たしている。